

# 町民のた場

## 大崎町青年団について

大崎町青年団連絡協議会会長  
齊藤 奈津希



突然ですが、青年団という団体があることを知っていますか？

青年団は、町内に在住または職場があるという人が集まって活動しています。現在の団員数は21人、18歳から30歳くらいの男女で構成されていますが、年々減少しているのが現状です。

いろんな方々に、青年団に興味を持ってもらうためにも今回は青年団が行っている活動について書いてみようと思います。

さっそくですが、主な町の活動とし

て年一回の総会、月一回の定例会があります。総会では一年間の活動方針などを決めます。定例会では団員でやってみたいことなどを出し合ってコミュニケーションをはかっています。いろんな活動の中でビッグイベントといえば、クリスマス大作戦、これは12月24日、クリスマスイブの日に団員がサンタクロースになって、町内の子供たちに家族から預かったプレゼントをお届けするというものです。子供たちの喜んだ顔などを見て団員たちも楽しんでいます。この他にも太鼓演奏活動やキャンプ、ボランティア活動などがあります。青年団は各市町村にあり、大崎町青年団は、曾於地区青年団と鹿児島県青年団に加盟して地区や県の行事にも積極的に参加しています。そして大崎町から地区の役員へ二名、県の役員へ一名選出しています。

2月に行われた地区の青年祭では、出し物部門でエアバンドとタップダンスを披露し優秀賞、のど自慢の部門では最優秀賞をもらいました。仕事が終わったとみんなで大喜びしました。

私は青年団に入り学んだことがたくさんあります。一人で何かをするのではなく、みんなで何かをする楽しさ、様々な人に出会うことによっていろいろな意見を聞くこともできます。

団員と「青年団とは何か？」と考えてみました。社会教育学習の一環として組織されていますが、社会の一員として明るい地域や社会、人格形成を目標として活動していくこと、そして出会った仲間を一生涯の友達として絆を大切にしていくことだと考えます。

地域の方々ともいっしょに活動していきたいと思っていますので、お手伝いできることがあれば、どんどん声を掛けてください。

そして町内の若者のみなさん、一緒に青年団活動を楽しんでみませんか？



## 編集後記

新緑のまぶしい、過ごしやすい季節となつてまいりました。

「ニューウェーブ大崎」のオープン、持留小学校の起工式等、大崎町にとって明るく、活気に満ちた出来事であり、頼もしく思っているところです。

さて、今回の議会日より103号の発行は、例年と違い、三月定例会が終わり、4年に一度の統一地方選挙の年でもあり、あわただしい中の議会だよりの作成となりました。

また、選挙後の新しい議会構成を決める臨時会も開催され、例年5月初旬の発行ですが、今年は5月15日となりました。

今回の町議会議員選挙から議員定数も20名から16名になり、議会構成、委員会構成も新しくなりました。広報編集委員会においても、今までの10名から6名の体制となり、次回の104号から新しい広報編集委員会の編集・発行作業ということになります。

読みやすく、分かりやすいをモットーに親しみのある議会だよりの作成を目指していきますので、町民皆様の紙面や議会に対するご意見、ご感想をお聞かせください。

広報編集委員一同